



発行所
鳥城会事務局
〒03(3668)2111
編集・印刷所
はんこ広場 日本橋店
〒03(5651)2088

総会報告

新会長に中野純氏を選出

総勢70人、懇談・ビンゴで交流

平成十五年度の鳥城会総会は昨年11月16日(日)正午過ぎから、東京・一ツ橋の如水会館で開かれました。席上、任期途中で辞任された山根眞樹生会長(一中54期)の推挙に基づき、中野純副会長(一中61期)が新しい会長に選出されました。多彩な来賓を含めて総勢約70人は世代を超えて大いに交流を深めました。

総会には山田正憲鳥取西高校長や岡本範道鳥取環境大学常務理事ら多くの来賓をお迎えしました。山根会長の開会挨拶の後、議事を和やかに進め、中野副会長の音頭で一年ぶりに再会を祝う乾杯が行なわれ、まなわのテーブルには鳥取名産のアゴ竹輪なども並んでいました。議事は林達郎(三浦三郎)副会長(西高5期)が決算・

期が決算・



ビンゴゲームに熱中する参加者たち

予算案(4面に概要)、レクリエーション活動報告、事務局報告などを説明し、承認されました。最後に山根会長から二任期中野新会長が承認された。

の卒業生である中野君に会長職を引き継ぎ、西高への橋渡し役を果たしてもらいたいと提案され、満場の拍手をもって中野新会長が承認された。

れました。懇親会では、最長老の伊藤光治氏(一中43期)の音頭であらためて乾杯し、楽しい午餐と交流の場がスタートし、談話

の輪が広がりました。山田校長から西高の近況を紹介いただき、野球部大先輩の大村文夫氏(一中44期)に「母校の野球の思い出」を熱をこめて語っていただきました。恒例となったビンゴゲームでは鳥取名産の賞品をめざして真剣となり、出席者全員が一中、西高に分かれての校歌斉唱(2面、3面に写真)には熱がこもっていました。

期が一年後の再会を祈って閉会の言葉が述べられ、2時間半がアツという間に

過ぎた一日でした。(当番幹事西高18期一同)山田雅行、吉田政雄、山川洋子、

山内ひろみ、森田祐理)

鳥城会は今年、創立三十周年を迎えました。この輝かしい節目に当たって、山根眞樹生前会長のご推挙により、昨年末の総会で新会長に指名されました。まことに光栄であるとともに、その重さを痛感しています。さて、皆さんもご存知のように、鳥城会はもとより、東地区に住む旧鳥取一中の諸先輩によって結成された同窓会でした。旧鳥取高女出身

者は別に翠紅会を結成されました。その後、翠紅会から希望者を特別会員に迎え、さらに鳥取西高出身者も会員に加え、今日のように発展してまいりました。年とともに卒業生の高齢化が進み、会の活動



新しい飛躍に向けて

会長 中野純 (元朝日新聞社取締役)

う矛盾を抱えています。このため、山根前会長のご指示は「過渡期を迎えた鳥城会

大変な仕事ですが、皆さんのお知恵を拝借して責務は果たさなければなりません。この秋の総会に組織

取西高は昨年、創立百三十周年を迎えました。その式典に鳥城会を代表して参列し、伝統ある母校の

発展ぶりを目の当たりにして、思いを新たにしました。同じ久松山下で学んだ一中、高女、西高の関東地区同窓生が一堂に会して「ふるさと」を語り合い、母校に思いを馳せるのは意義深いことだと思います。新生・鳥城会がさらなる飛躍に向けて前進できますように、会員の皆さんのご理解、ご協力を切にお願いいたします。

今年の総会、11月14日を予定

平成16年度鳥城会総会は、11月14日(日)正午から昨年と同じ東京・一ツ橋の如水会館で開くことを決め、準備を進めています。今年鳥城会創立三十周年に当たりますので、一人でも多くの皆様のご参加を期待しています。なお、一カ月前にはあらためてご案内をお届けいたします。(西高19期代表幹事一同)



母校、創立百三十年を祝う

創立百三十年を迎えた鳥取西高は、昨年10月28日(火)県民文化会館梨花ホールで盛大に記念式典を開催した。東京からも中野純鳥城会副会長(当時)が参列し、祝意を表した(写真)。式辞を述べる山田正憲校長。

募金も目標の三千万円がほぼ集まり、松江北高(旧鳥根一中)野球部を招待しての記念試合、県立博物館での「西高資料展」久松山下にさかえあれ、「トレーニングルーム」へのトレーニング機器の寄付、「写真で見える鳥取西高の歴史」の発行など多彩な行事に当てられた。

平成一五年度総会出席者(敬称略)

◎来賓

◎会員

山田正憲鳥取西高校長、蔵多敏夫鳥取西高教諭、岡本範道鳥取環境大学常務理事、下田弘嗣鳥取県東京事務所長
 (鳥取一中)▽43期・伊藤光治▽44期・大村文夫▽45期・田中順太郎▽51期・松本久直▽54期・山根眞樹生▽55期・谷尾侃、塩谷実▽61期・浅尾弘、岩田陽、中野純、仲山淳一、花木充夫、村野兼雄、横山豊、米村恒義▽62期・西高1期西村和義、橋本邦雄、原桃介(鳥取西高)▽4期・渡瀬靖夫▽5期・田中文雄、中田和夫、林田達郎、三浦三郎▽6期・箕邦男▽9期・篠田英男、守屋正教▽10期・岡田忠雄、川上壽一▽13期・山本哲也▽14期・竹内紘▽15期・田村玲子、三角幸子▽16期・木代泰之、土橋正義、西尾憲之▽17期・小谷範人、清水博、宮本幸一、森中章雄▽18期・内田信子、桑原孝宣、寺村温雄、森田祐理、山内ひろみ、山川洋子、山田雅行、山本真貴子、吉田政雄▽19期・上杉秀二、大西雅夫、小島憲道、坂本善博、松尾秀雄▽26期・岡本貞恵(神戸在住)▽39期・池原彰子、谷本宏幸、中村敏之

◎特別参加 田村達也鳥取県立公文館次長(西高16期)、中村均鳥取環境大学学務課次長(西高20期)、内田克彦鳥取県東京事務所副所長(西高23期)、荒木隆宏日本海新聞東京支社記者(西高39期)

欠席された方々の近況など

総会を欠席された方々のうち、連絡ハガキの通信欄に近況などが書き込んであるものを選び、期別に紹介させて頂きました。なお、昨年10月時点の便りであることご承知おき下さい。(敬称略)

(鳥取一中)
 竹内鐵二(34期) 御案内を賜り感謝いたします。病中不参加をお許し下さい。
 山崎丹照(35期) 私も芳紀(?)正に99歳6カ月、長年の腰痛で他出不能です。
 石黒長治(40期) 妻が在宅療養中ため、目下、その介護に専念。
 宮谷 勲(42期) 老化により夜間一人歩き全く自信なく、母校の会合に一度位は出席したい思い強いが、残念です。
 河上邦治(43期) 目が不自由になりました。だが、頭のリハビリはまだ早く元気。
 河原栄治(44期) 病気休養中です。
 三輪孝一(44期) 変わりなく過ごしてい

ます。
 北野琢夫(45期) 元気ですが、すっかり足が弱くなりました。
 石谷類造(46期) 加齢(87歳)のため、足が不自由で出席できません。
 川本浩光(46期) 10年以内の膝関節炎に苦しんでいますが、ラジオ体操は16年間継続中。また趣味の民謡、卓球のほかマイカー運転も続け、おかげで元気です。
 安田辰雄(46期) 退院後、要介護3を受け、自宅療養中です。
 山川国雄(49期) 晴耕雨読で、畑は百坪程度の借り物です。囲碁(初段)の会も楽しんでいきます。
 川崎偉志夫(50期) ギックリ腰のほかは、まずまずです。
 高島義弘(51期) 昨年末に会社を退職しまして、足の方が悪くて通院中です。芥潤一(52期) やや難聴気味ですが、身体は健康で、仕事も適量こなしています。
 山本茂(52期) 今年3月で80歳になります。

した。聴力が極度に衰え、補聴器を用いても、日常生活にやや不便さを感じているが、(ベ基)を楽しんでいます。
 川口正義(53期) 比較的健康的に恵まれて、毎日のように雑用を迫られながら、元気に暮らしています。
 中西幸生(53期) 平成8年10月に脳梗塞で倒れてから満7年になります。かなり長い療養生活ですが、この秋には園遊会のお招きをいただきました。
 安木膽二(53期) 外見は至極元気ですが、味覚、視覚、臭覚、聴覚は次第に衰え、触覚は健在のようです。
 谷川博通(54期) 体調を崩し、療養に励んでいます。
 中本誠一郎(54期) 元気ですが、傘寿を迎え、老いを感じています。
 安木茂(55期) 下肢閉塞性動脈硬化症で入院、3月27日に退院しましたが、薬で直すため長い治療になりそうです。
 山本徳栄(55期) 胆石症で入院、手術。

「久松山下巍々として...」
 90歳に達する大先輩を中心に
 元気な一中OBたち



現在、退院後の静養中。
 遠藤正明(56期) 年をとりましたが、持病も新薬のおかげで、とくに問題なく、有り難く過ごしています。
 岡田明(56期) 暢気に喜寿を迎えました。晩成は無理ですが、肉体的に故障なく、いまだに晩学中です。イラクのバラスで働いたこともあり、ブッシュ大統領とイラク復興への行方を見守る昨今です。
 鈴木昭(56期) 年齢相応に眼や歯が悪くなり、医院通いをしていますが、散歩だけは欠かさず頑張っています。
 西村義久(56期) 無事、喜寿を迎えましたが、体調が不安定のため、静養に努めております。
 高橋昭治(56期) 都内の区、市、町の社会教育課等の「俳句講座」の講師として、楽しく句創りを続けています。
 藤原謙二(56期) 腰痛以外は年相応に余暇を楽しんでいます。
 倉田一明(57期) 脳細胞は大分老化していますが、幸い生活習慣病は軽度で、元気に頑張っております。
 中野啓二郎(57期) 糖尿病にはかかっていいますが、まだ、なんとか足腰は動くようです。
 荒尾修(58期) 元気でゴルフ、旅行等を楽しんでおります。
 倉信隆弘(58期) 今年8月で75歳になりましたが、元気にやっております。
 田中達三(58期) 内外の旅行で、結構忙しい日々です。
 中井正實(58期) 10月10日に鳥取市に行き、県立博物館で「西高資料展」を見学してきました。旧一中の校舎やグラウンドも訪れ、明治、大正、昭和、平成という時代をあらためて見つめ直しました。
 中野英三郎(58期) 2月から始めた週5回6回のスポーツクラブ通いを続けています。筋力トレーニングでふくらはぎが太くなり、さらに循環系の調子も良くなったせい、顔に若人の生気が蘇ったように思います。
 谷尾孝史(59期) もう、そろそろ引き時と思いつながら、第3の人生を福祉の仕事に目下懸命です。

生田孝明(60期) 体力、気力はそこそこですが、脳力低下はかなりのものです。妻との会話から固有名詞が完全に消滅し、第三者が聴けば、きつと暗号のやりとりのように思うでしょう。

上田明之(60期) ボランティア活動とホームページの運営で毎日を楽しんで過しています。

花原茂(60期) 夏の甲子園の入場行進で、先導役に母校のキャプテンの勇姿を見て誇りと感慨を覚えました。

山本雄二郎(61期) 月刊「時評」誌上で中央省庁事務次官とのインタビュウ継続中。あちこちに出掛けて水彩画のスケッチを楽しんでいます。

井上礼三郎(63期) 東京近郊に住む同期の残党どもとゴルフなどして楽しんでます。

石川大修(63期) 現在、技術士事務所をやっており、岡山など西日本方面の企業に伺っております。

松尾哲男(63期) 古希を過ぎ、幸い健康に異常はありません。2月に生まれた内孫のすこやかな成長を楽しみに過しています。

増賀光一(63期) 講師をしていた大学も3年で定年になりました。

山瀬尋己(63期) 今日いたるも現役(大阪湾、パイロット)として元気に仕事が続けられることを感謝しながら、消日しています。

山橋端夫(63期) 総会と同じ日に付属小学校の同期会が鹿児島で行われますので、欠席します。

鬼泰照(64期) 会場の如水会館には特別の思い出があり、非常に残念です。

寛隆(64期) 今年6月で古希となり、リタイアいたしました。

川上修(64期) 相変わらずカシミヤを追い掛けて、中国と日本の間を行ったり来たりしています。

田畑健(64期) 女房ともども海外旅行に励んでいます。足腰の丈夫な内はこれに徹するつもりです。

中野剛(64期) 無事、古希を迎えましたが、まだ現役でお産を取り上げております。

牧野和春(64期) 郷里での吉田達男7回忌のため欠席。小生、割と健康に恵まれ、もう少し賞味期限があるようです。

(鳥取西高)

倉光定己(4期) 総会当日、長野県に出かけております。あしからず。

田中勉(5期) 健康に恵まれ、管理員業務を続けて6年半が経過しました。

渡部雄義(5期) 水泳、ウォーキングと日々頑張っています。先月、帰鳥し、三朝温泉青木別館に一泊して、久しぶ



「世紀の朝のかがやきに...」
山田校長(中央)も参加され、
校歌を斉唱する鳥取西高の
OB・OGたち

「世紀の朝のかがやきに...」
山田校長(中央)も参加され、校歌を斉唱する鳥取西高のOB・OGたち

席するため、鳥城会は欠席です。WT Oカンクン会議決裂後の会合で注目されています。

長島公子(9期) なんとか生きております。

福田典高(9期) 帰郷して、廃校となつた小学校の木造校舎を再活用してアトリエ教室を開いてから、ちょうど1年経ちました。今は地域と密着して様々なイベントに参加しております。

岡本昇太郎(10期) 日本財政の経常収支は神話的状況です。政党内の視点から国会を眺めております。

川口邦夫(10期) 春先にアキレス腱を切り、その後の半年を棒に振ったので、来年に備えて足元を固めています。

平尾千秋(10期) 年金生活者として1年余り過ぎました。のどかに、質素な生活を送っています。

糸尾一郎(11期) 今年4月、会社を卒業し、より充実した第一の人生をエンジョイしています。

松下充孝(11期) 総会当日、川崎市民マラソン(10キロ)に、久しぶりにエントリーしましたので、残念ですが欠席します。

猪口美恵子(13期) 還暦を迎えまして、楽しい老後が過ごせるようにと、ジムに通い始めました。

谷口彬雄(13期) 来年、還暦を迎え、定年まで残すところ5年半です。今年は大学の中に、ベンチャー会社を設立しました。まだまだ走っています。

福島智子(13期) 孫に邪魔されながら、油絵を描いています。

稲垣昭久(14期) 今年4月より、ドイツのデュッセルドルフに駐在することにになりました。3年の任期です。

佐藤醇(15期) 大学の独立法人化を控え、会議、会議、会議です。

小林健介(17期) 仕事の都合上、暮れは大変多忙な時期となっております。休日も仕事を考えられるので、欠席です。

白岩初子(17期) 東京都の職員として頑張っています。

掛樋恭子(18期) 15期卒の主人が今年7月より名古屋へ単身赴任中です。親子3人で留守を守っています。

岸田明子(18期) 老人介護の日々です。田舎からの二十世紀梨。八百屋で梨を見ると、鳥取のことを思います。

進藤由紀子(18期) 9月に鳥取に帰り、寂しさがつのると、軽いうつ病となり、食欲がなくなりました。今はこちらに連れられて来ました。

山口文子(18期) サークル活動をしており、コンサート当日なので、欠席いたします。

瀬戸都子(19期) 病気療養中です。皆さんにお会いできないのが残念です。

田中英子(19期) 週2日、NHK日本語センターで仕事をしております。

西本泰章(19期) 子供がまだ小さく、世話を追われています。数年後にはぜひ参加させていただきます。

米田道夫(19期) 今年夏休みに鳥取で卒業35周年を約200人の友、先生で祝うことができました。

阪下哲寛(20期) 本年3月、三菱信託銀行を退職し、関連会社に勤務しております。

細田泰造(20期) 旧三和銀行を15年1月に52歳で退職。現在、銀行系列会社の東洋不動産の役員をしております。

竹内功(21期) 鳥取市長の公務と重なるため、勝手ながら欠席します。

(旧翠紅会)鳥取高女同窓会
坂野寿子 何時の間にか80歳を超える年となり、足が大分弱ってきまして、失礼します。

- 「ご冥福を祈る
(事務局へご通知があった方々を掲載)
(鳥取一中)
- ◆43期 小林正喜様
平成14年12月15日ご逝去
 - ◆45期 岡村繁様
平成13年5月30日ご逝去
 - ◆47期 影井一美様
平成15年1月ご逝去
 - ◆57期 山中卓様
平成16年1月11日ご逝去
- 「鳥取西高」
- ◆5期 市川寿雄様
平成16年4月27日ご逝去

